

北電 45% 値上げ申請

規制料金 標準家庭月 3000円増

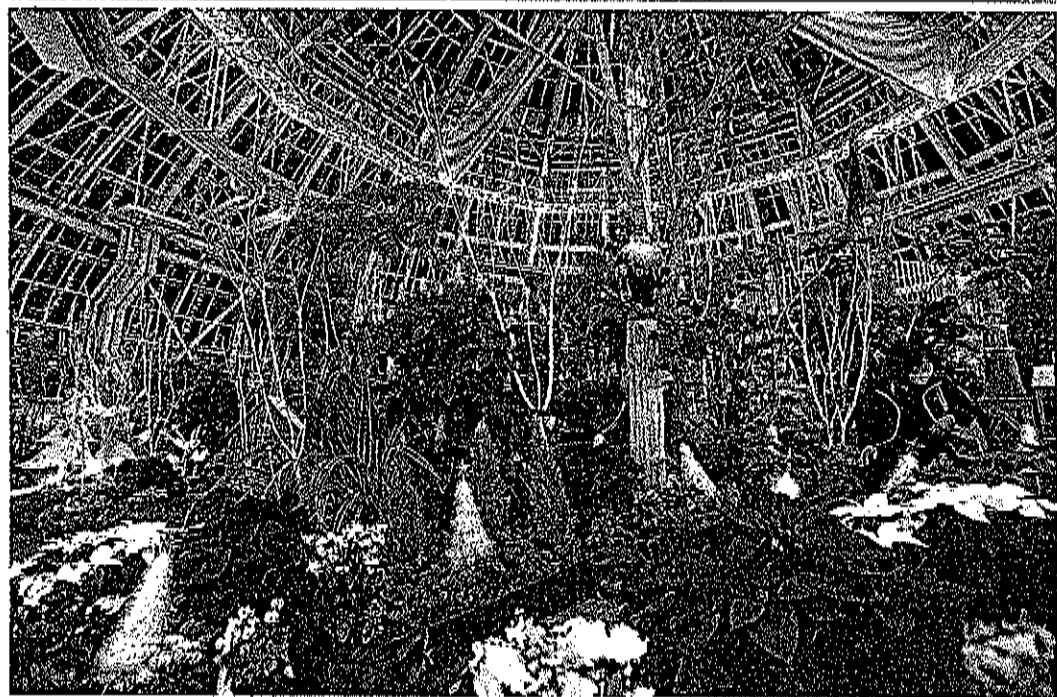
北陸電力(富山市)は三十日、家庭向けを含む「規制料金」について、平均45・84%の値上げを経済産業省に申請したと発表した。ウクライナ情勢などに伴う燃料価格の高騰で業績が悪化しているため。対象顧客は北陸エリアの約百二十七万件で、来年四月の実施を目指す。申請は東北、中国などに続き電力大手では五社目で、値上げ率は最大となった。――関連記事

電力会社	値上げ率	値上げ額(月額)
北陸電力	45.84%	3082円
東北電力	32.94%	2717円
中国電力	31.33%	2399円
四国電力	28.08%	2205円
沖縄電力	39.30%	3473円

電気料金は国の認可が必要。規制料金と、電力会社の裁量で設定できる家庭と企業向けの「自由料金」がある。申請が認められれば、北電の規制料金の値上げはオイルショックのおおりに受けた一九八〇年四月以来、四十三年ぶりとなる。

家庭向けに加え、小規模商店や工場向けの低圧電力や、主に自治体向けの公衆料金も値上げを申請している。

本店で会見した松田光司社長は、特設サイトを開設して値上げに関する情報を発信し、顧客向けの説明会も開くと説明。当面、役員報酬を10%削減する方針も



クリスマスイメージさせる花とイルミネーションの共演を楽しめる花の展示温室。30日、坂井市の県総合グリーンセンターで

タマネギハウス Xマス一色 丸岡

「クリスマス直前のサンタ村」がテーマ。タマネギハウスの内外では三百日午後五時に一万五千個の発光ダイオード(LED)のイルミネーションが点灯した。サンタハウスやトナカイの飾りも優しい光に照らされた。担当者は「暖かい温室の中で、花とイルミネーションを楽しんでください」と話していた。

イルミネーションは来年一月十四日まで。期間中は、開園時間を午後九時まで延長する。無料。クリスマスの花などの展示は十二月二十五日まで、その後「正月」「バレンタインデー」をテーマに模様替える。月曜日と十二月二十八日―月四日は休館する。(写真・文 山田 昭)

坂井市丸岡町の県総合グリーンセンター内にある「花の展示温室」(通称・タマネギハウス)で、クリスマス仕様の展示とイルミネーションが始まっている。鮮やかな赤のポインセチアや色とりどりのシクラメンなど華やかな花々が配置され、早くもクリスマスムードに満ちている。

「クリスマス直前のサンタ村」がテーマ。タマネギハウスの内外では三百日午後五時に一万五千個の発光ダイオード(LED)のイルミネーションが点灯した。サンタハウスやトナカイの飾りも優しい光に照らされた。担当者は「暖かい温室の中で、花とイルミネーションを楽しんでください」と話していた。

イルミネーションは来年一月十四日まで。期間中は、開園時間を午後九時まで延長する。無料。クリスマスの花などの展示は十二月二十五日まで、その後「正月」「バレンタインデー」をテーマに模様替える。月曜日と十二月二十八日―月四日は休館する。(写真・文 山田 昭)

示し「企業電力でははい、まずは安定供給に影響が及ぼることを懸念している」と述べた。また「燃料費も増える。苦渋の決断だ」と述べた。

だが、状況を改善するため、値上げを求めたい」と理解を求めた。

値上げ率が既に申請を終えた大手電力四社の水準を上回った理由について北電は、志賀原発の停止が続く中、発電量の約七割を石炭火力発電所に頼り、石炭価格の記録的な高騰が収益を圧迫していることを挙げていた。松田社長は会見で「これまで北電の電気料金

が安かったことも一因だ」と述べた。

北電は二〇一三年三月期の連結決算で損益が九億億円の赤字(前期は六十八億円の赤字)と、過去最大となる見通し。